

シルバー会員の
シルバー会員による
シルバー会員のための会報誌



令和7年4月5日発行
公益社団法人 小平市シルバー人材センター

第185号 一目次ー

新年度三委員会事業計画／新旧事務局長…… 2面&3面
仕事別グループ紹介／学習教室参観日…………… 4面
会員のひろば／年輪川柳…………… 5面
報告・連絡・確認…………… 6面&7面
新しい仲間／追悼／募集告知／編集後記…………… 8面

年輪

Spring 2025 No.185



新シリーズ！仕事別グループ紹介 Vol.1 植木班 【4面に掲載記事】

三委員会発表、令和7年度事業計画！新たな気持ちで、スタート！

シルバーの事業活動を支える三本柱「組織活性・安全委員会」「就業促進委員会」「広報・ボランティア委員会」より、令和7年度の事業計画が発表され

ました。また、今年は任期満了にともなう事務局長の退任、就任を迎える年でもあります。新年度最初の重大トピックスを2面・3面でお伝えします。



安全優先！すべては、就業事故ゼロのために

組織活性・安全委員会 委員長 植松睦枝

当委員会では、会員のみなさんにとって「安全・安心なシルバー事業」の展開を図り、傷害事故や賠償事故ゼロをめざし、下記の事業計画を策定。基本理念「安全はすべてに優先する」のもと、安全に楽しく就業できるよう会員のみなさんのご理解ご協力をお願いします。

I 第4次長期5カ年計画の検証・規程の整備

(1) 会員数・就業率・契約金額・就業延日数の数値目標の検証と分析 (2) 就業状況等の検証と整備

II 組織活性

(1) 総会や地域班長連絡会等を活用し、健康管理・安全意識・交通安全の高揚を図る講演会を実施
(2) 新入会員説明会・新入会員ガイダンスの活用
(3) 地域班活動活性化の支援 (4) 市民まつりへの参加

III 安全管理体制

(1) 事故発生状況について原因分析と再発防止等の検証
(2) 安全就業に関する研修会等への参加

IV 事故防止措置

(1) 事故防止と安全就業の徹底 (2) 安全就業意識の高揚を図る (3) 自転車用ヘルメットの着用推進

V 会員の健康管理

(1) 小平市の「基本健康診査」「特定健康診査」の奨励
(2) 体力測定

VI 安全教育

(1) 交通事故防止・防犯に努める (2) 職群別・仕事別グループの安全管理の徹底 (3) 救命応急の知識向上

VII 安全意識の普及・啓発

毎月1回、総合相談コーナーを開設します！

就業促進
委員会

人手不足が深刻化するなかで、企業等の需要を把握し、新規事業の開拓に努めるとともに既存の事業所の動向に注視、会員の能力や経験を活かせる場を探求しながら積極的な事業拡大に取り組みます。また、会員増強は就業を確保する上で不可欠な要因となることから、新規会員の入会促進に努めます。

副委員長 瀬川和秀

I 就業機会の拡大

(1) 既存事業所の対応 (2) 新規事業の開拓
(3) 労働者派遣事業の拡充・拡大
(4) 適正就業

「請負・委任」と「派遣」の就業形態を明確にし「適正就業ガイドライン」を活用した研修等を継続的に実施。

II 会員の増強

センターの案内パンフレットに加え、新規会員の「入会の案内」に限定したチラシを作成し配布。

III 退会会員の抑止

年に2回就業等相談会を開催。未就業期間が6カ月以上の会員には電話等にて定期的に接触、就業紹介に努める。

IV 就業促進

月に1回総合相談コーナーを開設、就業内容についての質問や就業中の会員の相談等に対応。また、新人の育成等を目的とした講習会や研修会の開催を奨励。さらに、事務局内の掲示板やサイトを活用して「お仕事情報」を積極的に発信、会員専用サイトへの登録促進も継続して行う。

V 仕事別グループの充実

仕事別グループリーダーの役割についての支援、助言に努める。また、仕事別グループ懇談会を開催、グループ討議による情報交換等を行うことで役割を確認し、自主的な活動ができるようグループの支援に努める。併せて、仕事別グループでの「市民まつりパレード」への参加を要請。

広報・
ボランティア
委員会

委員長 太田史郎

「地域に愛され、地域に役立つ」をPR

シルバー人材センター事業の意義や理念、事業活動等を今まで以上に広く市民に周知するとともに、事業への理解・協力を得るため市内全域であらゆる機会を捉えて、より効果的な普及・啓発活動を推進。また、社会奉仕活動にも注力し、地域社会に貢献する事業の展開を図ります。そのための事業計画を立案・実施、センターのPRに努めます。会員のみなさんのご協力をお願いします。

I 会報誌『年輪』の発行

発行は季刊（4月・7月・10月・1月）、会員主体の編集グループで作成。全会員へ郵送するほか、市内公共施設等にも置き、センターのサイトでも配信。

II センター紹介映像の活用

新入会員説明会やパネル展等で放映するほか、センターのサイトでも動画配信。

III センター掲示板の活用

センター事業や行事をタイムリーに会員及び市民に伝えるため、事務所内掲示板の有効活用を推進する。

IV 公共施設等における広報活動

10月の東京都内シルバー人材センター広報活動強調月間等を中心に、次の広報活動を行う。

(1) 市内駅前でポケットティッシュを配布しての街頭宣伝

(2) 市役所にて年2回、10月と2月にパネル展を実施

(3) イベント参加、パンフレット配布等によるPR活動

V サイトの管理・運営

(1) 活動状況等を随時掲載し、更新頻度を高める

(2) 事業計画、事業報告等を公開

(3) 就業情報ほか、会員向け各種情報のさらなる充実

VI ボランティア活動の推進

市内一斉清掃活動や地域班ボランティア活動を行い、公益社団法人としてのセンターの公共性をアピール。

VII 公報等配布事業にともなう地域見守り活動

市内全域で行う公報等配布事業を通じて、地域の防犯・見守りに貢献。また、公報等配布事業が円滑に行われるように当委員会所管の公報等配布事業部会を主幹とし、連携を取りながら活動を進める。



新事務局長 余語 聡

私はこれまで市役所の仕事や自治会活動などを通じて高齢者の方々と関わってきましたが、人生経験豊かで多角的な視点をお持ちの素晴らしい方が大勢いらっしゃいました。そのような方々はトラブル発生時などにも決して慌てることなく、落ち着いて対処するなど問題解決の判断力に優れ、さまざまな場面で助けていただきました。そうした経験から多くの高齢者の方々に積極的に仕事をしていただくことが現代社会の課題解決に繋がるものと実感しています。

小平市シルバー人材センターの「共働・共助・自主・自立」の理念のもと、高齢者の方々に関わることを通して、地域社会の福祉の向上に微力ながら寄与することができればと考えています。よろしくお願い申し上げます。



前事務局長 海上一彦

平成31年4月から6年間お世話になりました。この間、新型コロナウイルスの流行によりセンター活動も制限を受け、一定期間事業縮小も止むを得ない状況となりましたが、会員のみなさん及び役職員一丸となり、短期間でコロナ禍以前の業績を回復することができました。

10年ほど前には第5地域内7センターの中で最低の契約金額であったのが、近年は会員数とともに三鷹市に次ぐ第2位の実績を記録するまでになりました。みなさんの努力の賜物と捉えています。

結びにみなさんのご健康を祈念するとともに、センターはインボイス、包括契約、また外部理事・監事制度の導入等変革期を迎えますが、乗り越えていただくことを期待しています。ありがとうございました。

共に助け合いながら共に働く、シルバーの「共働・共助」のポリシーを実践する集まり、令和7年3月現在、12ある仕事別グループを順次紹介していく新シリーズ企画です。第1回はー

仕事別
グループ紹介

チームワークで依頼に応える！植木班

現在30名ほどが在籍する植木班。男の職場と思いきや、写真を見ての通り、女性会員も活躍しています。個人住宅や公共施設等から仕事を受注し、主に植木の剪定を行っています。作業依頼にスムーズに対応するため「剪定」と「運搬」の2チームに大別。さらに「剪定」チームは、小平市を東西で2つに分けた地域ごとにそれぞれ4チーム、計8チームという体制を組んでいます。一方「運搬」チームは、剪定作業で使用する機材などを作業前日に搬入し、翌日に搬出する役割を担っています。

植木班への作業依頼件数は年間2,000件弱。作業員一人の労働日数は年間平均150日ほどです。依頼主の依頼内容を第一に考え、次回もまた依頼されるよう努めたうえで、作業員各自が充実して作業できるように取り組んでいます。もちろん、危険をとまなう仕事であり、専用の道具や高所作業に必要な脚立などを扱うため、仕事別グループの中でも就業に際して、特に注意力が求められます。



●最近女性メンバーも加わり、さらに活気づく植木班

専門的な技能を持つ職人の集団ですが、植木班のメンバーになるためには、必ずしも事前に作業ノウハウを有している必要はありません。未経験でもやる気と根気があればOK！先輩メンバーが実際の作業現場で手取り足取り指導、着実に作業ノウハウを学ぶことができます。仲間と助け合いながら気持ち良く汗を流す、チームワークが身上の植木班です。

学習教室参観日

歌声の渦を創ってみませんか～合唱教室

●毎週金曜、第1学習室にて18時▶20時開講

昨年新規に開講した合唱教室。講師を務めるのは齋藤智子さん。中学の音楽教師として合唱部を率いNHK全国学校音楽コンクールで金賞に導いたという経歴の持ち主。その経験を活かした指導がベースにありながら、レッスンは楽しさに溢れています。



●合唱の基本となる発声から丁寧に指導する、齋藤先生

レッスンは、合唱を楽しむには基本が欠かせないというセオリーの通り、まずはAEIOUEA（あえいおうえあ）を言葉にする発声練習から始め、そして「CONCONE 50 LESSONS OP.9」という教本を使った発声練習へと続きます。そして全員で練習曲を歌うかたちをとります。発声練習の大事さは明瞭そのもの。新規開講紹介で取材した時の生徒さんの声とはまるで違うものに。練習曲の歌声も、音量・艶やかさ、いずれも心に響いてきました。

齋藤さんにとって歌とは、空気のように、つねにそこにあるものだと言います。また合唱は、個々では決して得られない複数人の歌声の渦だとも言います。まさに、それこそが合唱の真髄です。年一回の発表の場をめざして歌声の渦を創ってみませんか。さあ一緒に歌いましょう。

MEMBERS SQUARE

自由投稿欄 会員のひろば

シルバー会員のための自由な表現の場。今回は、小平で生まれ育った生粋の小平っ子会員から、郷土への思いを綴った随筆が届きました。

郷土への思い～青梅街道沿い旧小平村の屋号 小川東町 小川 清

最近、自転車に乗って街を見ると青梅街道周辺の移り変わりが…昔この辺りは火の見櫓があり、その隣は消防小屋、向かいには青果市場、その隣は集会所だった。道路は舗装？大穴が空いて雨が降ると大変、両脇の排水溝は泥でミミズがいっぱいいた。

近年、新築住宅がアツと言う間に立ち並び、昔ながらの懐かしい風景は、消え去ってしまった…そのような思いで、私は旧小平の人々の暮らしを調べたのが郷土史の文献をひもとく動機でした。

よく子どもの頃、本家のイシヤのお婆さんが家に来て、シタテヤの誰々さんとか、チョウチンヤの家とか、屋号で呼んでいたのを思い出す。村では親元から独立して弟が家を構えることを「新家」に出ると言ったようで、同じ名字の人が近くにいると「ゲタヤの〇〇さん」「スミヤの〇〇ちゃん」と呼び合い、便利にしていたと記述されている。

ここでは農業のかたわら商いなど、様々な稼ぎを行っていたことが伺える。青梅街道沿いに農業しながら商売したことを「農間商渡世」という。旧小川村の屋号を抜粋し、右の表にまとめました。

●小川一番から八番まで 青梅街道北側

屋 号	説 明
ヤマヤ	山印の下に弥の字を書く
ニゴリヤ	濁り酒を作って売っていたらしい
ボウヤ	ボウヤとは鎌の柄のこと
ナカヤ	仲買をやっていたからとも長屋門があったからだとも
カンヌシ	文字通り神官の家
ナルセ	大名の成瀬家に炭を収めたという
タテグヤ	今はない
カミジユクノダンナサマ	小川村名主の家、ヨコチョウとも
ヤドヤ	同じく宿屋
タカサゴヤ	ここは酒屋
アサミガッコウ	寺子屋的な私塾をやっていた
ダイジン	これは大尽を指す
ミナデイ	三七吉という大工がいた
シモジユクノダンナサマ	名主の家、イシヤとも

●同じく 青梅街道南側

屋 号	説 明
テラニシ	寺院の西隣り
チョウチンヤ	またはカサヤとも呼ばれる
サンバサン	文字通り産婆さん
ケイトクヤ	資産家の商店だった
ヨシミヤ	ここは旅館
マンジュウヤ	今はない
キムサン	喜右衛門さんか？ 雑貨荒物の店
メイシヤ	文字通り眠医者
ネッコザカ	地名が屋号になった、 蚕種屋
ラッカシヨヤ	落花生のこと
マルシチ	丸に七の字の運送屋
サンオウサン	藪の中に山王様が 祀られていた
ヤネヤ	屋根葺き職人を指す
タケヤ	竹細工職人を指す

*参考文献：小平市史 地理・考古・民族編、小平の歴史を拓くー市史研究ー第5号

読んでよし
詠んで猶よし
ネン川ぞ

【年輪川柳】

ネン川は
脳トレ兼ねて
詠まれをり

看病に介護のよろこびありがとう

小川東町 小川の清志郎

腹に訊く食べた食べない朝ごはん

小川東町 ななしのごんべ

ギター弾く楽譜拾いはボケ防止

鈴木町 ギター渡り鳥

今日の用今日の行く場所元気村

鈴木町 臨職

通勤着いまは晴れ着に昇格し

大沼町 年中ジャージ

報告連絡確認

要チェック！イベント・実務関連のお知らせ



応募総数152作品！6作品を東京しごと財団へ推薦

多くのご応募ありがとうございました。全会員への呼びかけ後、さらに仕事別グループや、ボランティア事業へ参加いただいた会員へも呼びかけました。グループで就業している会員も、一人で就業している会員もそれぞれ安全対策を考えるきっかけになっていることと思います。組織活性・安全委員会で第1次審査、安全標語選考委員会で第2次審査を行い、厳正な審査の結果、下記の6作品を東京しごと財団に推薦しました。

エントリー① 東京しごと財団のテーマ《事故防止のための体力づくり》応募数79作品

体力は自ら鍛えて 進化する

根 征喜

さあいくぞ 今日にも元気で 体力づくり

服部 圭造

ヘルメット かぶって元気に 事故防止

小柳 芳一

エントリー② 小平市シルバー人材センターのテーマ《転倒事故防止》応募数73作品

転倒は 心のゆるみ 気の油断

鈴木 敏幸

転倒は 忘れた頃に やってくる

佐々木 日出男

気をつけて 足元見えない 暗い道

日暮 進

●推薦作品を作られた6名の会員のみなさんには、記念品をお渡しします。どうぞお受け取りください。

市役所でシルバー人材センターをアピール

パネル展を開催

2月3日月曜から7日金曜まで 9時▶16時
小平市役所1階エレベーター横で実施しました！

広報・ボランティア委員会の事業計画の一つで、例年秋と冬に開催する「パネル展」を、昨秋10月に続き2月第一週、小平市役所の1階にスペースを設け



実施しました。広報・ボランティアの委員がローテーションを組んで担当、壁にパネルを掲げ、センター紹介のDVDを放映しながら、市役所を訪れた市民の

みなさんにポケットティッシュとパンフレットを配布。昨年より多くの方に受け取っていただき、センターを知っていただく良い機会となりました。

わが家の不用品が処分できて、地球のエコに貢献できるんです！



●不用品はシルバーのブースでリサイクル販売

環境グリーンフェスティバル シルバーも 出店

5月11日日曜 10時▶15時 小平市立中央公園

小平市が主催する「環境意識の向上と緑化の推進」を目的とするグリーンフェスティバルに参加。限りある資源を大切に再利用するため、会員のみなさんからの提供品をイベント会場である中央公園にブースを設け販売します。ご提供いただける品がありましたら、5月2日までにセンター事務局までお持ちください。

なお、ご提供いただく品物の状態によっては、お断りさせていただく場合がございますので、ご了承ください。

10年以上、20年以上のシルバー在籍会員顕彰も！
公益社団法人として15回目を迎える公式行事

第15回 定時社員総会



●昨年度の定時社員総会の模様

6月17日火曜 午後1時30分より
小平市福祉会館にて開催

定時社員総会って？と疑問に思う会員のみなさんもうらっしゃると思います。シルバーは公益社団法人ですので、所属するみなさんは、公式的には社員、なんですね。その総会を定例通り6月に開催。会員全体の意思が直接反映される、最も重要な公式行事です。会員のみなさんへは5月末頃、詳細を記載した議案書と召集の通知をご自宅へ郵送しますので、ご確認ください。多くのご出席をお待ちしています。

令和6年度 第9回理事会：12月26日開催

- ① 12月期入会会員13名の承認（男性10名・女性3名）
- ② 規程等の新設について
 1. シルバー人材センター利用規約 2. 会員業務利用規約
- ③ 令和7年度専門委員会事業計画（案）について
 1. 組織活性・安全委員会 2. 就業促進委員会 3. 広報・ボランティア委員会
- ④ 令和7年度予算編成方針（案）について ⑤ 役員賠償保険の加入について

令和6年度 第10回理事会：1月23日開催

- ① 1月期入会会員7名の承認（男性7名・女性0名） ② 理事・監事選考委員会委員（案）について

令和6年度 第11回理事会：2月27日開催

- ① 2月期入会会員16名の承認（男性9名・女性7名） ② 令和7年度事業計画（案）について
- ③ 令和7年度収支予算書（案）・収支予算書内訳書（案）・資金調達及び設備投資の見込を記載した書類について
- ④ 特別会員の承認及び事務局長の採用について ⑤ 令和7年度の事業予定について



事業実績

令和6年度	受託件数	契約金額	就業人数	就業率	会員数		
					男性	女性	合計
11月	807件	49,641,987円	908人	71.5%	842人	428人	1,270人
12月	706件	44,858,583円	781人	61.3%	849人	425人	1,274人
1月	483件	42,065,731円	893人	70.3%	850人	420人	1,270人

配分金支払日

3月分：4月17日木曜
4月分：5月19日月曜
5月分：6月17日火曜
6月分：7月17日木曜

令和7年度会費納入のお願い

今年度の会費2,000円が未納入の会員は、事務局まで直接納入、または郵便局の振替口座へお振込みください。

口座番号：00140-1-755843

口座名義：（公社）小平市シルバー人材センター

*就業中の会員は、配分金からお引落しします。

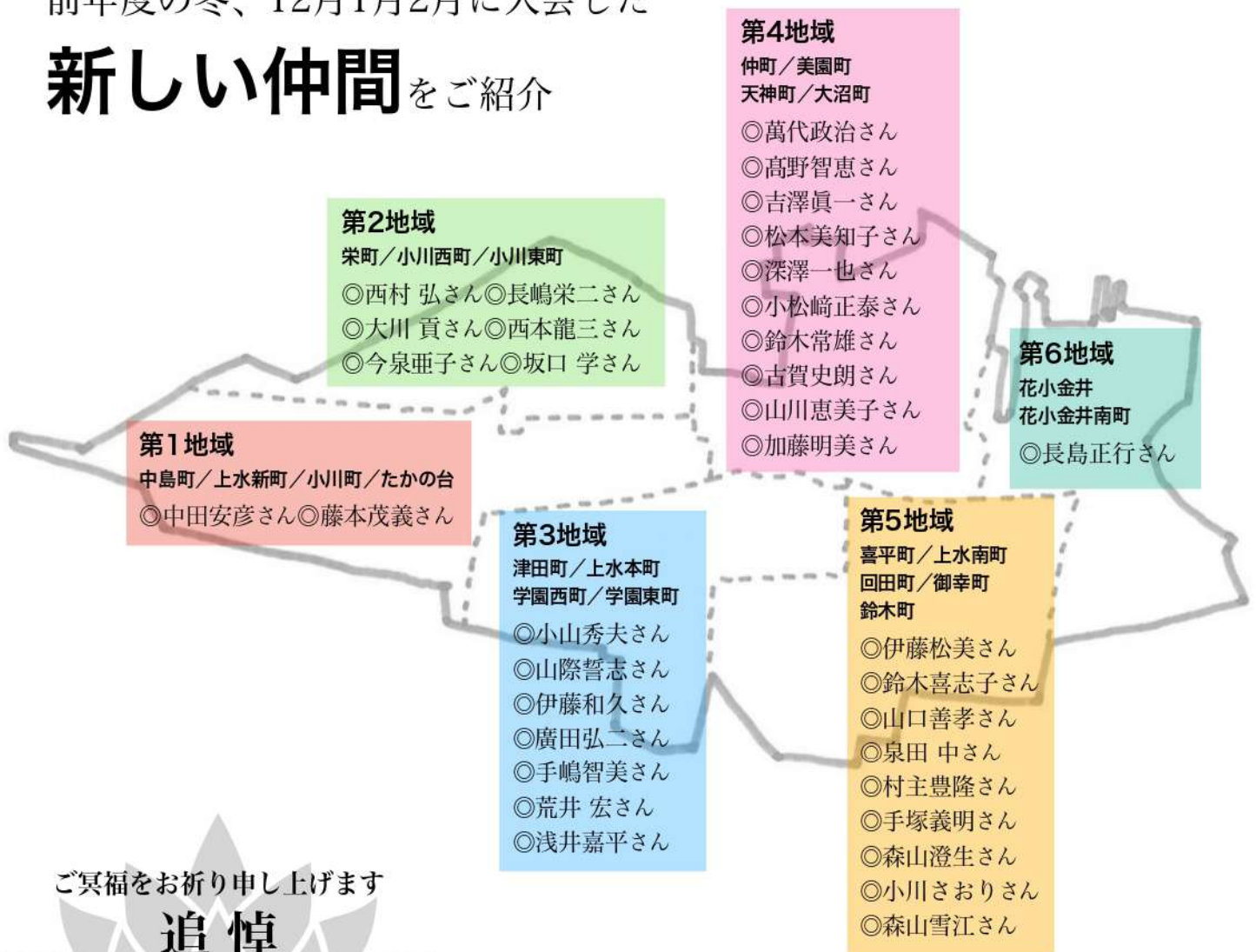
*会費はセンター運営に必要な経費の一部に充てますので、就業の有無にかかわらず毎年5月末日までに納める義務があります。

*退会を希望される会員は退会届を提出し、会費未納の場合は納入してください。

ようこそ！シルバーへ

前年度の冬、12月1月2月に入会した

新しい仲間をご紹介します



ご冥福をお祈り申し上げます

追悼

佐藤半次郎様 享年85歳 学園東町
弓指幹夫様 享年84歳 仲町
若菜美代子様 享年65歳 仲町
沼田 浩様 享年81歳 花小金井

次号は7月5日
発行予定です！



投稿原稿&編集スタッフ大募集！！

『自由投稿欄 会員のひろば』や『年輪川柳』では、会員のみなさんからの投稿を随時受け付けています。併せて『年輪』編集グループでは、スタッフを募集。編集経験のある方や興味をお持ちの方を求めています。どちらも事務局宛へ。郵送でも持参でも、電話やFAX、EメールでもOKです！いつでも気軽にご応募ください。

編集後記：前号掲載の新春インタビューが大きな反響を呼びました。ポスト・コロナのシルバー、活性化させたいですね。今号では、会員のみなさんの重大な関心事、就業にフォーカスした仕事別グループ紹介もスタート。新年度を迎え『年輪』も新たな気持ちで、シルバーの活動を活字で支えていきます。ご愛読よろしくお願いします。

発行：公益社団法人 小平市シルバー人材センター
編集：広報・ボランティア委員会『年輪』編集グループ
住所：〒187-0031
小平市小川東町4-2-1 小平元気村おがわ東内
TEL：042-344-2120 **FAX：**042-345-9400
Email：kodaira@sjc.ne.jp
HP：<https://www.sjc.ne.jp/kodaira/>